

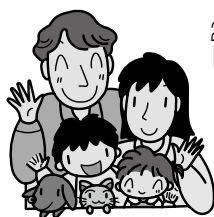
市民意識調査の結果がまとまりました

市では、7月に市民意識調査を実施しました。この調査は、市民の皆さんが行田市に対して普段どのように考えているかを把握し、各種行政施策の基礎資料とすることを目的として行っただけです。調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

ここでは、市民意識調査の結果の主なものについて紹介します。

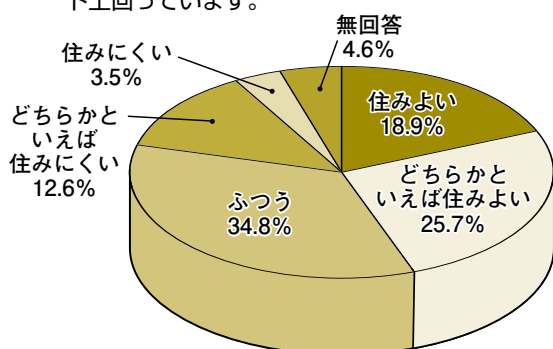
調査の概要

- ① 調査対象 市内に在住する満20歳以上の男女
- ② 調査人数 3千人（無作為抽出）
- ③ 有効票数 1千675票
- ④ 調査方法 調査票を郵送のうえ、記入後に返送
- ⑤ 調査期間 平成21年7月8日～22日



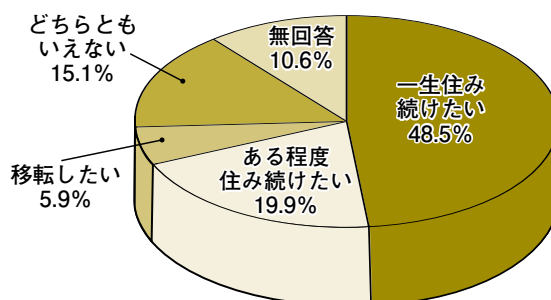
質問：行田市の住み心地はいかがですか。

結果：まちの住み心地は、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した『肯定派』が44.6%と、「否定派」（「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の割合）の16.1%より28.5ポイント上回っています。



質問：今後も行田市に住み続けたいとお考えですか。

結果：今後の居住意向は、「一生住み続けたい」が48.5%と最も多く、「ある程度住み続けたい」19.9%、「どちらともいえない」15.1%、「移転したい」5.9%となっています。「一生住み続けたい」と「ある程度住み続けたい」をあわせた『居住継続派』は68.4%となっています。



質問：男女共同参画社会の実現のためには何が重要だとお考えですか。（複数回答）

結果：男女共同参画社会の実現のために重要なことは、「誰もが安心して暮らせる環境や条件の整備」（49.4%）と「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」（42.4%）が40%台と最も多く、ついで「学校教育における男女平等教育の推進」（33.9%）、「保育環境を充実させる」（25.4%）となっています。

